

グローバル人材育成推進事業 審査結果表

大 学 名	愛知県立大学
申 請 区 分	タイプB
<p>〔評価コメント〕</p> <p>本構想は「学士課程における発展的留学制度を通じたグローバル・キャリア育成プロジェクト」というテーマを扱ったプログラムであるが、大学の理念と学部の教育目的、及び、大学の次期中期計画に基づき、地域社会で必要とされるグローバル人材を育成することを目指す意欲的な取り組みである。また、その設計は、外国語学部の強みと地域社会の教育的資源を活用する教育体制によって支えられており、高く評価できる。</p> <p>本構想は、育成すべきグローバル人材像を態度、能力、知識・スキルの3つの面で明確に規定し、更に、そのような人材が修得すべき具体的な能力を設定しており、高く評価できる。専攻言語（第一外国語）＋第二外国語の習得を目標に掲げ、各外国語力の到達度を客観的テストの数値で具体的に示していることも評価できる。また、学生の留学を語学留学から単位取得を伴う留学にシフトしようとしている点や、留学を留学前プログラム、留学先での活動、留学後プログラムの3段階に分け、各段階が無理なく体系的に繋がられ、最終的には学生の地域貢献も視野に入れたキャリア支援教育に持っていかうと設計している点も高く評価できる。学生の海外留学を有意義なものにするための学内連携の強化や海外協定校との連携の強化を目指している点も意欲的で、優れている。</p> <p>しかしながら、本構想に基づく学生の海外留学を実現するには、短期間に海外協定校を大幅に開拓していく必要があるが、現在、海外協定校が少ない（全学レベルの協定で9校、英語圏の授業料相互不徴収大学が皆無）ことや、今後、海外協定校を増やしていくための具体的方策が明らかではないことから、実現性に疑問が残るように思われる。また、海外の大学との交換留学を実施する上で不可欠な受入れ側の科目提供体制の整備や、地元のニーズに応えるために学生にどのような能力を身に着けさせるかという視点は十分ではない。これらの点に関しては更なる検討が望まれる。</p> <p>最後に、今回「グローバル人材育成推進事業」に採択された貴学におかれては、20年、30年後の「日本」を見据え、国際社会に積極的に関与し貢献するとともに、日本がより豊かで強く、かつ様々な価値観を大切にす国になるための礎となる「グローバル人材」の育成に中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任と期待の重さを認識されるとともに、大学として構想内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。</p>	